

土壌検診週間終了

7月11日～8月2日にかけて実施した土壌分析の点数は、総計320点（石垣市167点、竹富町81点、与那国町72点）で、作物別では、さとうきび133点、果樹48点、野菜43点、水稲35点、花き32点、牧草29点となりました。分析結果は以下のとおりです。

■平成17年度 土壌検診週間 作物別分析結果

※検診週間：7月11日～15日、CEC分析：7月20日～8月2日

市町村	施設 露地	品目	分析 点数	農家数	pH	EC ($\mu\text{m/cm}$)	腐植 (%)	有効態りん酸 ($\text{mg}/100\text{g}$)	CEC (me)	交換性石灰 ($\text{mg}/100\text{g}$)	交換性苦土 ($\text{mg}/100\text{g}$)	交換性加里 ($\text{mg}/100\text{g}$)	有効態けい酸 ($\text{mg}/100\text{g}$)	遊離酸化鉄 (%)
石垣市	露地	サトウキビ	29	21	5.89	0.04	1.42	15.5	9.5	545	23	13		
		水稲	21	16	6.10	0.08	2.27	7.8	11.4	798	29	6	18.0	0.6
		野菜	17	10	6.96	0.07	1.75	42.3	14.0	792	43	18		
		果樹	31	6	6.43	0.05	1.89	12.7	11.4	605	42	16		
		花き	23	1	4.95	0.06	1.84	3.2	16.7	111	31	29		
		牧草	7	3	6.33	0.09	2.20	10.8	11.8	799	29	17		
	施設	野菜	15	5	6.16	0.20	3.31	167.4	16.1	578	66	31		
		果樹	15	6	6.41	0.39	2.55	141.0	16.5	905	75	53		
		花き	9	5	5.76	0.06	1.53	13.9	15.7	423	41	26		
		合計		167	73									
竹富町	露地	サトウキビ	47	39	8.19	0.12	1.34	11.7	17.1	2139	56	19		
		水稲	8	3	5.89	0.15	2.85	5.4	15.5	771	34	2	16.1	1.4
		野菜	2	1	8.43	0.17	1.39	30.0	17.5	1955	62	53		
		牧草	22	19	7.37	0.13	2.35	10.5	14.8	1948	74	23		
	施設	果樹	2	1	6.58	0.14	1.32	16.3	18.8	2505	74	43		
		合計		81	63									
与那国町	露地	サトウキビ	57	34	5.81	0.07	1.67	18.1	12.8	540	26	18		
		水稲	6	1	6.16	0.09	2.11	14.7	14.4	496	31	10	20.3	0.5
		野菜	7	6	7.02	0.08	1.97	18.9	14.9	968	49	18		
	施設	野菜	2	1	5.38	0.11	1.58	14.1	15.4	288	33	34		
		合計		72	42									

■主な改良と施肥のポイント

①さとうきび

- ・ pHが5以下の土壌では、苦土石灰・炭カルによるpH改良を行いましょ。
- ・ リン酸の少ない土壌では、次作にBB500などリン酸分の多い肥料を使いましょ。
- ・ カリの少ない土壌では、次作に化成804などカリ分の多い肥料を使いましょ。

②水稲

- ・ ケイ酸は、葉や茎を丈夫にして病害虫の侵入を防ぐ働きがあります。分析値が15mg以下の土壌では、ケイカル等による改良を行いましょ。

③牧草

- ・ pHが5以下の土壌では、苦土石灰・炭カルによるpH改良を行いましょ。
- ・ リン酸が少ない土壌では、草地更新時にリン酸資材を投入するか、追肥にリン酸分の入った肥料を使いましょ。

④果樹・野菜・花き

- ・ それぞれの作物に適したpHで栽培しましょ。
- ・ 堆肥や緑肥を利用し、腐植（有機物）を増やしましょ（目標2%以上）。
- ・ 実や花を収穫する作物では、リン酸や苦土の改良を心がけましょ。

⑤改良資材を施用する場合の注意事項

- ・ pH7以上の土壌では、炭カル・苦土石灰・BMようりんなどのアルカリ資材は使わないようにしましょ。
- ・ 根焼け等を防ぐため、堆肥と共に植付1ヶ月前までに施用しましょ。
- ・ 1回の施用量は100kg/10a（石灰資材は200kg/10a）までにしましょ。

※土壌検診週間は、普及センター・JA・市町・支庁・農業共済が連携して実施しました。